

県民の森 花ごよみ 10月号

～今月はこんな花(実)が見られます～

モデルコース
(歩いて約120分)

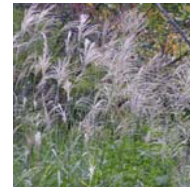
トイレ



長さ40～80cmになるつる性の多年草。つるは紫色を帯びる。花は淡紫色で8～10月に開花。
(リンドウ科)



名は、細い花柄の先につり下がって咲く花の姿を、釣船(つるして使う釣花生けのなかで舟形をしたもの)にたとえたものという。やや湿ったところに多い高さ50～80cmの一年草。
(ツリフネソウ科)



別名:オバナ
すくすく立つ木(草)という説もあるが、語源ははっきりとしない。秋の七草のひとつで尾花の名でも親しまれている。
(イネ科)



コウヤボウキ

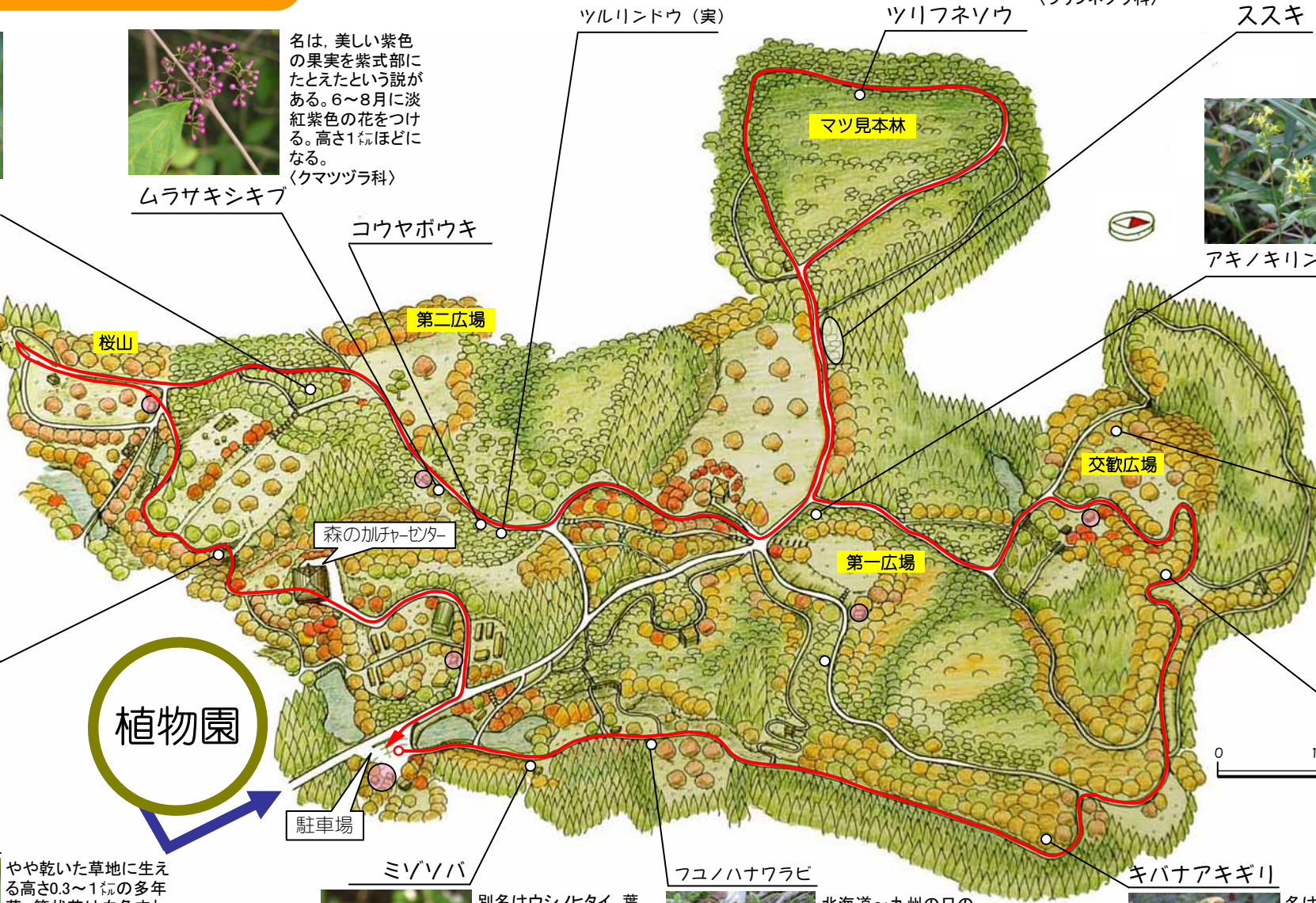
別名:タマボウキ
名は、高野山で枝をほうきの材料にしたことからついた。本州(関東地方以西)～九州に分布する落葉小低木。高さ0.5～1mになる。
(キク科)



ムラサキシキブ

名は、美しい紫色の果実を紫式部にたとえたという説がある。6～8月に淡紅紫色の花をつける。高さ1mほどになる。
(クマツヅラ科)

コウヤボウキ



植物園



ノダケ

高さ0.8～1.5mの多年草。暗紫色まれに淡緑白色の花をつける。果実はカレーの香りがする。
(セリ科)

オケラ



やや乾いた草地に生える高さ0.3～1mの多年草。筒状花は白色まれにやや紅色を帯びる。地下茎は芳香があり、正月の屠蘇(とそ)にも使われる。
(キク科)

発行:茨城県植物園管理事務所



ミゾソバ

別名はウシノヒタイ。葉の形が牛の顔(額)を思わせることによる。田のあぜや水辺など、やや湿ったところに群生する高さ0.3～1mの一年草。
(タデ科)



フユノハナワラビ

北海道～九州の日の当たる山地や原野にふつうに生育する小型のシダ植物。7月に枯れて、8月には新葉が伸びてくる。
(ハナヤスリ科)



キバナアキギリ

名は、秋にキリに似た黄色の花をつけることによる。低い山地の木陰などに生える高さ20～40cmの多年草。
(シソ科)



アキノキリンソウ

別名:アワダチソウ
日当たりのよい山野に生える高さ30～80cmの多年草。セイタカアワダチソウとは同じ属。
(キク科)



ツリガネニンジン

山野にごくふつうに見られる多年草。高さは0.4～1m。根は大きい。葉、小葉、花の付き方も毛の状態もいろいろである。
(キキョウ科)

ムラサキシキブ